



福岡市の森林と森づくり

福岡市の1/3が森林

市域の約1/3を森林が占める福岡市では、森林と都市とがコンパクトに調和し、森の存在と価値を身近に感じることができます。



福岡市では、「みんなで守り・楽しみ・活かす都市・ふくおかの森づくり」を進め、快適で豊かな市民生活を支える森林を次世代に残していくことを目指しています。

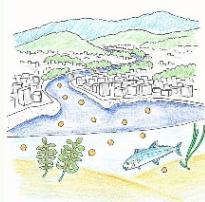
Check! Fukuoka Green NEXT - 森づくりの将来像 -



毎日の暮らしを快適にし、災害を減らす「安心の森づくり」



身近な自然を体験し学ぶ「遊びの森づくり」



青振山系から博多湾まで流域全体で行う「水循環の森づくり」



気候変動対策と生物多様性保全に応える「環境の森づくり」



持続的な森の利用と生産を目指す「なりわいの森づくり」

森林のさまざまな役割

森林は、持続可能な社会の実現にも貢献するさまざまな役割を持っています。

- 🌿 CO₂吸収や生物多様性の保全
- 🌿 災害防止や水源かん養*
- 🌿 山～川～海の水の循環を育む
- 🌿 山のミネラルが豊かな博多湾の海産物を育む
- 🌿 リフレッシュやレクリエーションの場
- 🌿 木材等の生産 など

※森林土壌の洪水緩和、水資源貯留、水質浄化機能

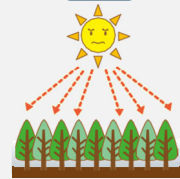
森林が持つさまざまな役割を保ちながら、次の世代へ引きついでいくためには、間伐による保全や、木材の利用による植え替えを進めることで、森林をバランスのとれた状態にしていく必要があります。



間伐はなぜ必要なの？

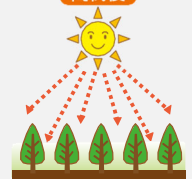
- 間伐とは、木が成長し、隣同士が重なり合ってきたとき、一部の木を伐（き）って葉を広げるスペースをつくることです。
- 間伐を行うと、日光が地表に届くようになり、下草の発達が促進され、森林の水源かん養機能などが増進されます。さらに、残った木の成長が促進されることにより、木材としての価値が向上します。

間伐前



木が育ちにくく暗い森林

間伐後



木の間にスペースができ、日光が届く



福岡市の

木材利用の取組み



広がる木材利用の取組み

木材には、リラックス効果や調湿効果などがあり、健康的で豊かな交流が育まれる環境づくりに長く応えてきました。あなたも、木に優しい「ぬくもり」を感じたことはありませんか？



福岡市では、「福岡市内の公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針」を策定し、**公共建築物の積極的な木造・木質化**に取り組んでいます。

リニューアルした早良区役所の窓口カウンターや階段手すりには福岡市の木が使用されています！

Check!



森林のために木を使おう！

木は成長過程でCO₂を吸収、炭素として固定し、その効果は建築物などへ利用される間も続きます。

伐採跡地に適切に木を植えることで、**森林のサイクル**が保たれ、地球温暖化の防止にもつながるため、**地域産材**※をはじめとする**木材利用に積極的に取り組む**必要があります。

※福岡市内及び市近郊で生育・伐採された木材



木を伐る（きる）ことは環境に悪いことなの？

- 木は光合成によりCO₂を吸収して炭素を固定しながら成長しますが、老木より若い木の方が、CO₂を吸収することはあまり知られていません。
- 固定された炭素は、**建築物の木造・木質化**など、木材等に活用されることで、内部に封じ込められたまま、**大気に放出されない状態を保つ**ことができます。
- 木を伐った後は広葉樹等への**植え替え**を進め、より多くの森林を若返らせることで、**CO₂吸収を高めるとともに、花粉症対策**にもつながります。

